

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6月14日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県碧南市浜町1番地 氏 名 日鉄ステンレス株式会社 製造本部 衣浦製造所 執行役員所長 米田 信幸	
(法人にあつては、名称及び代表者の名) 電話番号 0566-48-7211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 衣浦製造所
事業場の所在地	愛知県碧南市浜町1番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	製品出荷額；44,010(百万円)
③従業員数	441人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①鋳さい・・・工場→最終処分場 ②陶磁器くず・・・全所→中間処理 ③廃油・・・全所→中間処理 ④廃プラスチック・・・全所→中間処理 ⑤汚泥・・・工場→中間処理 ⑥木屑・・・全所→中間処理 ⑦がれき類・・・工場→最終処分場

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 所内、環境管理手順書 衣-環-11「副産物（産業廃棄物）処分管理手順書」による。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	排 出 量	19,762 t	21 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	109 t	341 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木屑
	排 出 量	224 t	80 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】 令和元年度		
	産業廃棄物の種類	鉋さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	排 出 量	10,000 t	20 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	100 t	330 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木屑
	排 出 量	220 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組) 実施していない。		
	② 計画	【目標】令和元年度		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 予定無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず	
	全処理委託量	19,762 t	21 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	19,762 t	6 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
	上記以外の種類は、別紙1-1、別紙1-2参照 (これまでに実施した取組) ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類	鉾さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	10,000 t	20 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10,000 t	7 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	上記以外の種類は、別紙2-1、別紙2-2参照 (今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

① 現状	【前年度（平成３０年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		廃油	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量		１０９ ｔ	３４１ ｔ
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		６６ ｔ	１０６ ｔ
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		４３ ｔ	１６ ｔ
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		０ ｔ	０ ｔ
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		０ ｔ	０ ｔ
	産業廃棄物の種類		汚泥	木屑
	全 処 理 委 託 量		２２４ ｔ	８０ ｔ
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		２２４ ｔ	８０ ｔ
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		０ ｔ	８０ ｔ
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		０ ｔ	０ ｔ
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		０ ｔ	０ ｔ

別紙 2-1

② 計画	【目標】 令和元年度			
	産業廃棄物の種類		廃油	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量		1 0 0 t	3 3 0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 0 t	1 1 0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 0 t	1 6 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		汚泥	木屑
	全 処 理 委 託 量		2 2 0 t	8 0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 2 0 t	8 0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	8 0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t

別紙 1-2

① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		鉋さい （溶融還元炉スラグ） 水銀使用製品 （蛍光灯、水銀灯等）
	全 処 理 委 託 量		12,717 t 0.368 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		12,717 t 0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		0 t 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t 0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		0 t 0 t
	産業廃棄物の種類		がれき類
	全 処 理 委 託 量		9,656 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		9,656 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		0 t

別紙 2-2

② 計画	【目標】令和元年度		
	産業廃棄物の種類		鉋さい (溶融還元炉スラグ) 水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	全 処 理 委 託 量		0 t 0. 1 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
	産業廃棄物の種類		がれき類
	全 処 理 委 託 量		1 5, 0 0 0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 5, 0 0 0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい (溶融還元炉スラグ)	水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	排 出 量	12,717 t	0.368 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	9,656 t	
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	特に無し		
② 計画	【目標】 令和元年度		
	産業廃棄物の種類	鉋さい (溶融還元炉スラグ)	水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	排 出 量	0 t	0.1 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	15,000 t	
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		